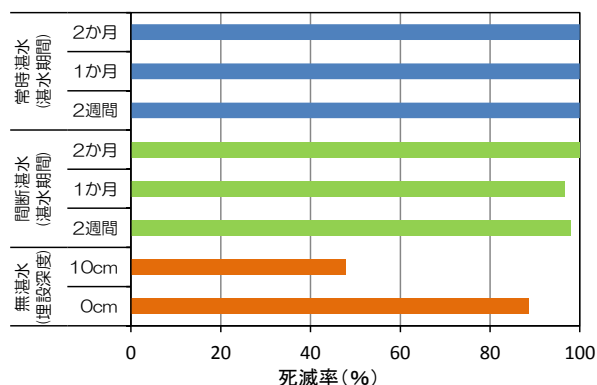
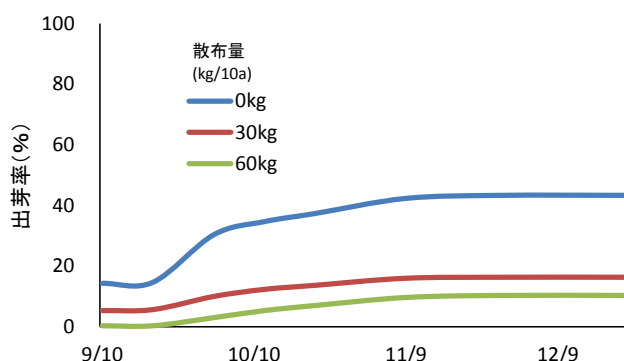


ムギ難防除雑草「ヤグルマギク」の防除

ヤグルマギクは観賞用として栽培されていますが、周辺ムギほ場に逸出して防除が困難な雑草となっています。そこで防除方法を検討したところ、夏期の湛水処理や不耕起管理が有効でした。湛水が行えない場所では石灰窒素の散布により生存種子量を減少させることができます。薬剤処理では、播種後土壌処理剤の除草効果は小さく、ジフルフェニカンを含む剤でやや抑草効果が見られました。生育期茎葉処理剤ではベンタゾン液剤の効果が高く、これらの体系処理が効果的でした。雑草が大型化すると効果が得られないので、雑草が3～4葉期までに処理します。

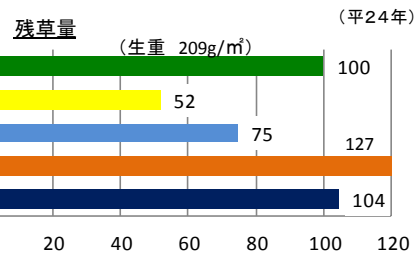
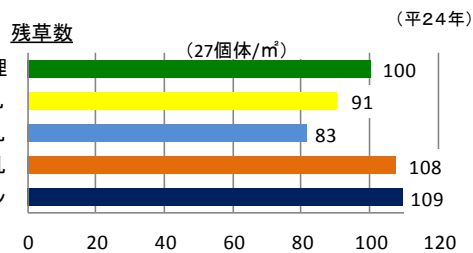


夏期の湛水処理等による種子の死滅状況

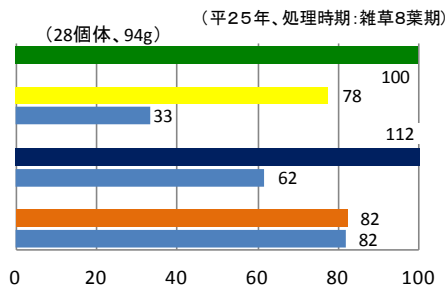
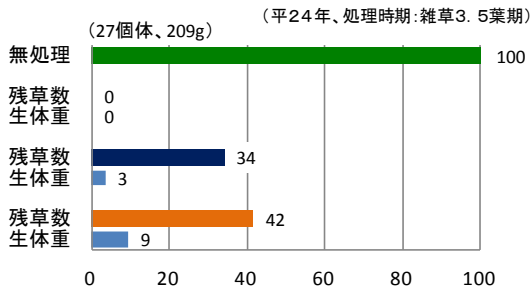


秋期の石灰窒素処理による種子の発芽状況

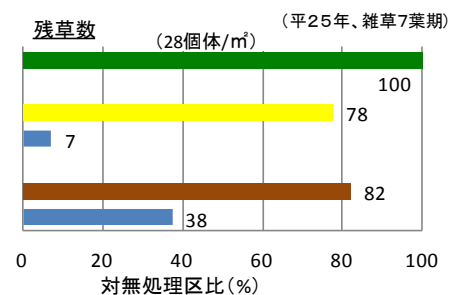
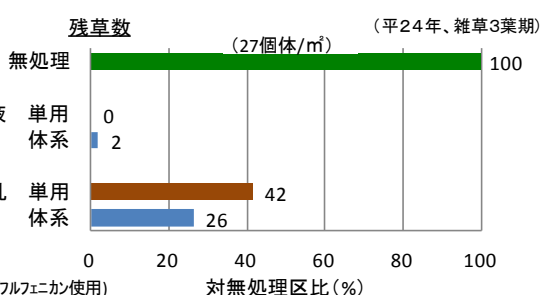
①播種後土壌処理



②生育期茎葉処理



③体系処理



土壌処理(エスプロカルブ・ジフルフェニカン使用)

対無処理区比 (%)

対無処理区比 (%)

各種除草剤の効果